

授業科目・担当教員・履修方法

文学研究科	51
・宗教学仏教学専攻	53
・歴史学専攻	55
・英語圏文化専攻	57
・日本文化専攻	59
心身科学研究科	61
・心理学専攻	63
・健康科学専攻	71
商学研究科	75
経営学研究科	81
経済学研究科	87
法学研究科	91
総合政策研究科	97
歯学研究科	103
薬学研究科	109

文学研究科

文 学 研 究 科

1. 宗教学仏教学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
△ 仏教学仏教史学研究(I)	(講4)	
○ 仏教学仏教史学研究(II)	(講4・演8)	教 授 Ph. D. 石 田 尚 敬
仏教学仏教史学研究(III)	(講4)	准 教 授 博士(地域研究) 松 浦 史 明
○ 禅学禅思想史研究(I)	(講4・演8)	准 教 授 博士(仏教学) 清 野 宏 道
○ 禅学禅思想史研究(II)	(講4・演8)	准 教 授 博士(仏教学) 大 松 久 規
宗教学宗教史学研究(I)	(講4)	非常勤講師 博士(文学) 林 淳
△○ 宗教学宗教史学研究(II)	(講4・演8)	教 授 博士(文学) 小 林 奈 央 子
○ 宗教学宗教史学研究(III)	(講4・演8)	教 授 Ph. D. 伊 藤 雅 之
仏教学仏教史学研究	(講4)	非常勤講師 博士(文学) 平 野 克 典
△* 宗教学宗教史学研究	(講4)	
△ 宗教学仏教学特講(I)	(講4)	
宗教学仏教学特講(II)	(講4)	非常勤講師 文学博士 谷 口 富 士 夫
宗教学仏教学特講(III)	(講2)	教 授 Ph. D. 伊 藤 雅 之
(Japanese Religions)		教 授 Ph. D. 石 田 尚 敬
		准 教 授 博士(地域研究) 松 浦 史 明
(自由選択科目) 臨床宗教師養成科目	△ 臨床宗教学研究 I	(講2)
	△ 臨床宗教学研究 II	(講2)
	△ 臨床宗教学研究 III	(講2)
	△ 臨床宗教学実習 I(学外実習)	(実2)
	△ 臨床宗教学実習 II A(学外実習)	(実2)
	△ 臨床宗教学実習 II B(学外実習)	(実2)
	△ 臨床宗教学実習 II C(学外実習)	(実2)

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

*印の講義は特講に読替えることができる。

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位（講義4・演習8）を必修とする。
2. 専修科目以外の科目から講義20単位以上、特講4単位以上を選択履修すること。
3. 1年次生は、特講4単位を必ず履修しなければならない。
4. 他専攻の特講を履修する場合
 - (1) 修得した4単位は、自専攻の特講4単位として単位認定する。
 - (2) 履修した4単位は、文研（修士）他専攻単位互換の履修制限8単位に含まれる。
5. 臨床宗教師養成科目は、自由選択科目で修了要件単位には含まれない。
6. 標準履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	専修科目以外の科目		計
第 1 年 次	講 4 演 4	講12	特 4	24単位
第 2 年 次	演 4	講 8		12単位
計	講 4 演 8	講20	特 4	36単位

博士後期課程

授 業 科 目		単 位 数	担 当 教 員	
個別研究指導科目	△○ 仏教学仏教史学研究(Ⅰ)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 小 林 奈央子 教 授 Ph. D. 伊 藤 雅 之	
	△○ 禅学禅思想史研究(Ⅱ)	(研究指導 12)		
	△○ 宗教学宗教史学研究(Ⅰ)	(研究指導 12)		
	△○ 宗教学宗教史学研究(Ⅱ)	(研究指導 12)		
	○ 宗教学宗教史学研究(Ⅲ)	(研究指導 12)		
講義科目	宗教学仏教学研究特講	(講義 4)	教 授 Ph. D. 伊 藤 雅 之	
	△		教 授 博士(文学) 小 林 奈央子 教 授 Ph. D. 石 田 尚 敬 准教授 博士(仏教学) 大 松 久 規 准教授 博士(仏教学) 清 野 宏 道	

○印は特修科目、△印は本年度開講せず

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
2. 研究指導以外の科目(講義)から4単位以上選択履修すること。
3. 講義は単独の授業は行われぬ。博士前期課程の講義と合併授業であるので、担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目
第 1 年 次	研究指導 4	講義 4
第 2 年 次	研究指導 4	
第 3 年 次	研究指導 4	

文 学 研 究 科

2. 歴史学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員		
○日本史研究(I) (文化史研究)	(講4・演8)	教 授	博士(文学)	松 蘭 齊
*○日本史研究(II) (社会経済史研究)	(講4)	客員教授	博士(文学)	福 島 金 治
○日本史研究(III)-1 (政治史研究)	(講4・演8)	教 授	博士(文学)	中 川 すがね
○日本史研究(III)-2 (政治史研究)	(講4・演8)	教 授	博士(国際文化)	後 藤 致 人
○東洋史研究(I) (文化史研究)	(講4・演8)	教 授	博士(文学)	松 下 憲 一
○東洋史研究(II) (社会経済史研究)	(講4・演8)	准教授	博士(中国研究)	広 中 一 成
*○西洋史研究(I) (文化史研究)	(講4・演8)	教 授	博士(文学)	中 村 敦 子
○西洋史研究(II) (政治経済史研究)	(講4・演8)	准教授	博士(学術)	門 間 卓 也
○イスラム圏史研究	(講4・演8)	教 授	博士(学術)	松 井 真 子
○考古学研究(I) (先史考古学研究)	(講4・演8)	准教授	博士(環境学)	長 井 謙 治
○考古学研究(II) (歴史考古学研究)	(講4・演8)	教 授	博士(文学)	加 藤 一 郎
△*考古学特殊研究	(講4)			

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

*印の講義は特講に読替えることができる。

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位（講義4・演習8）を必修とする。
2. 専修科目以外の科目から講義20単位以上、特講4単位以上を選択履修すること。
3. 1年次生は、特講4単位を必ず履修しなければならない。*印の講義は、特講に読み替えることができる。
4. 他専攻の特講を履修する場合
 - (1) 修得した4単位は、自専攻の特講4単位として単位認定する。
 - (2) 履修した4単位は、文研（修士）他専攻単位互換の履修制限8単位に含まれる。
5. 標準履修方法

科目 年次	専 修 科 目	専修科目以外の科目		計
第 1 年 次	講 4 演 4	講12	特 4	24単位
第 2 年 次	演 4	講 8		12単位
計	講 4 演 8	講20	特 4	36単位

博士後期課程

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○日本史研究(Ⅰ) (文化史研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 松 蘭 齊
△○日本史研究(Ⅱ) (社会経済史研究)	(研究指導 12)	客員教授 博士(文学) 福 島 金 治
○日本史研究(Ⅲ)-1 (政治史研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 中 川 すがね
○日本史研究(Ⅲ)-2 (政治史研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(国際文化) 後 藤 致 人
○東洋史研究(Ⅰ) (文化史研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 松 下 憲 一
△○東洋史研究(Ⅱ) (社会経済史研究)	(研究指導 12)	
○西洋史研究(Ⅰ) (文化史研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 中 村 敦 子
△○西洋史研究(Ⅱ) (政治経済史研究)	(研究指導 12)	
△○イスラム圏史研究	(研究指導 12)	
△○考古学研究(Ⅰ) (先史考古学研究)	(研究指導 12)	
△○考古学研究(Ⅱ) (歴史考古学研究)	(研究指導 12)	
歴 史 学 研 究 特 講	(講義 4)	教 授 博士(文学) 松 蘭 齊 客員教授 博士(文学) 福 島 金 治 教 授 博士(文学) 中 川 すがね 教 授 博士(国際文化) 後 藤 致 人 教 授 博士(文学) 松 下 憲 一 教 授 博士(文学) 中 村 敦 子 准 教 授 博士(環境学) 長 井 謙 治

○印は特修科目、△印は本年度開講せず

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
2. 研究指導以外の科目(講義)から4単位以上選択履修すること。
3. 講義は単独の授業は行われない。博士前期課程の講義と合併授業であるので、担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目
第 1 年 次	研究指導 4	講義 4
第 2 年 次	研究指導 4	
第 3 年 次	研究指導 4	

文 学 研 究 科

3. 英語圏文化専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
教育学研究分野 英語学・英語	○ 英語英文学研究 (Ⅰ) (英語教育学研究)	(講4・演8)	教授 博士(学術) 藤田 賢
	○ 英語英文学研究 (Ⅱ) (英語学・社会言語学研究)	(講4・演8)	教授 博士(文学) 前田 満
	△○ 英語英文学研究 (Ⅲ) (言語文化研究)	(講4・演8)	
	英語英文学研究 (Ⅳ) (理論言語学研究)	(講4)	准教授 博士(言語文化学) 石川 弓子
	△○ 英語英文学研究 (Ⅴ) (英語コミュニケーション論)	(講4・演8)	教授 博士(学術) 野口 朋香
アメリカ研究分野	*○ 英語圏文化研究 (Ⅰ) (アメリカ社会・歴史研究)	(講4・演8)	教授 Ph. D. 高木 眞理子
	△ 英語圏文化研究 (Ⅱ) (アメリカ文学研究)	(講4)	
	○ 英語圏文化研究 (Ⅲ) (アメリカ文学研究)	(講4・演8)	教授 松崎 博
イギリス研究分野	△○ 英語圏文化研究 (Ⅳ) (イギリス社会研究)	(講4・演8)	
	○ 英語圏文化研究 (Ⅴ)-1 (イギリス文学研究)	(講4・演8)	教授 博士(人間文化科学) 星 久美子
	○ 英語圏文化研究 (Ⅴ)-2 (イギリス文化研究)	(講4・演8)	教授 Ph. D. 芝 奈穂
広域英語圏研究分野	○ 英語圏文化研究 (Ⅵ) (広域英語圏地域研究)	(講4・演8)	教授 Ph. D. 安藤 充
	英語圏文化研究 (Ⅶ) (広域英語圏政治研究)	(講4)	准教授 博士(安全保障学) 大澤 傑
	△ 英語圏文化研究 (Ⅷ) (広域英語圏社会研究)	(講4)	
共通領域研究分野	英語圏文化特講Ⅰ (異文化交流理解研究)	(講4)	客員教授(兼任) 岩田 和男

英語圏文化専攻

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

*印の講義は特講に読替えることができる。

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4・演習8)を必修とする。
2. 専修科目以外の科目から講義20単位以上、特講4単位以上を選択履修すること。
3. 1年次生は、特講4単位を必ず履修しなければならない。*印の講義は、特講に読み替えることができる。
4. 他専攻の特講を履修する場合
 - (1) 修得した4単位は、自専攻の特講4単位として単位認定する。
 - (2) 履修した4単位は、文研(修士)他専攻単位互換の履修制限8単位に含まれる。
5. 標準履修方法

年次	科目	専修科目以外		計
	専修科目	専修科目以外	計	
第1年次	講4 演4	講12	特4	24単位
第2年次	演4	講8		12単位
計	講4 演8	講20	特4	36単位

博士後期課程

授 業 科 目		単 位 数	担 当 教 員		
個別研究指導科目	○ 英語圏文化研究(Ⅰ) (英語教育学研究)	(研究指導 12)	教 授 博 士(学術)	藤 田 賢	
	○ 英語圏文化研究(Ⅱ) (英語学研究)	(研究指導 12)	教 授 博 士(文学)	前 田 満	
	○ 英語圏文化研究(Ⅲ) (アメリカ社会・歴史研究)	(研究指導 12)	教 授 Ph. D.	高 木 眞理子	
	△○ 英語圏文化研究(Ⅳ) (イギリス社会研究)	(研究指導 12)			
	○ 英語圏文化研究(Ⅴ) (広域英語圏文化研究)	(研究指導 12)	教 授 Ph. D.	安 藤 充	
講義科目	英語圏文化研究特講	(講義 4)	教 授 博 士(学術)	藤 田 賢	
			教 授 博 士(文学)	前 田 満	
			教 授 Ph. D.	高 木 眞理子	
			教 授 博 士(人間文化科学)	星 久美子	
			教 授 Ph. D.	安 藤 充	

○印は特修科目、△印は本年度開講せず

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
2. 研究指導以外の科目(講義)から4単位以上選択履修すること。
3. 講義は単独の授業は行われぬ。博士前期課程の講義と合併授業であるので、担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目
第 1 年 次	研究指導 4	講義 4
第 2 年 次	研究指導 4	
第 3 年 次	研究指導 4	

英 文 学
英 語 圏 文 化 研 究 専 攻 科

文 学 研 究 科

4. 日本文化専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
日本語日本文学研究分野	○日本文学研究(Ⅰ) (古典文学)	(講4・演8)	教 授 博士(文学) 川 名 淳 子
	日本文学研究(Ⅱ) (近現代文学)	(講4)	准教授 博士(文学) 吉 田 遼 人
	△○日本語研究(Ⅰ) (音声学)	(講4・演8)	
	○日本語研究(Ⅱ) (表現論)	(講4・演8)	教 授 博士(文学) 多 門 靖 容
日本文化研究分野	日本文化研究(Ⅰ) (日本語の辞書史)	(講4)	教 授 河 野 敏 宏
	日本文化研究(Ⅱ) (日本語論)	(講4)	准教授 博士(文学) 野 田 大 志
	日本文化研究(Ⅲ)-1 (日本の美術史)	(講4)	非常勤講師 博士(文学) 高 橋 早 紀 子
	日本文化研究(Ⅲ)-2 (書道文化)	(講4)	教 授 博士(芸術学) 明園劉 作 勝
各種領域研究分野	○日本文化研究(Ⅳ) (仏教文学)	(講4・演8)	教 授 博士(文学) 木 村 文 輝
	○日本文化研究(V)-1 (社会学)	(講4・演8)	教 授 博士(社会学) 竹 下 修 子
	*○日本文化研究(V)-2 (民俗学)	(講4・演8)	教 授 蛸 島 直
	○日本文化研究(VI) (中国の古典)	(講4・演8)	教 授 博士(文学) 下 川 玲 子
特講	△日本文化特講	(講4)	

日 文 学 研 究 科
日 本 学 文 化 専 攻

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

*印の講義は特講に読替えることができる。

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4・演習8)を必修とする。
2. 専修科目以外の科目から講義20単位以上、特講4単位以上を選択履修すること。
3. 1年次生は、特講4単位を必ず履修しなければならない。*印の講義は、特講に読み替えることができる。
4. 他専攻の特講を履修する場合
 - (1) 修得した4単位は、自専攻の特講4単位として単位認定する。
 - (2) 履修した4単位は、文研(修士)他専攻単位互換の履修制限8単位に含まれる。
5. 標準履修方法

年次	科目	専 修 科 目		専修科目以外の科目		計
		講	演	講	特	
第 1 年 次		講 4	演 4	講 12	特 4	24単位
第 2 年 次			演 4	講 8		12単位
計		講 4	演 8	講 20	特 4	36単位

博士後期課程

	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
個別研究指導科目	○ 日本文化研究(Ⅰ) (日本文学研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 川 名 淳 子
	○ 日本文化研究(Ⅱ) (東洋文化研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 木 村 文 輝
	○ 日本文化研究(Ⅲ) (日本語研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(文学) 多 門 靖 容
	○ 日本文化研究(Ⅳ) (社会学研究)	(研究指導 12)	教 授 博士(社会学) 竹 下 修 子
	△○ 日本文化研究(Ⅴ) (日本語研究)	(研究指導 12)	
講義科目	日本文化研究特講	(講義 4)	教 授 博士(文学) 川 名 淳 子 教 授 博士(文学) 木 村 文 輝 教 授 博士(文学) 多 門 靖 容 教 授 博士(社会学) 竹 下 修 子 教 授 蛸 島 直 子 教 授 博士(文学) 下 川 玲 子

○印は特修科目、△印は本年度開講せず

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
2. 研究指導以外の科目(講義)から4単位以上選択履修すること。
3. 講義は単独の授業は行われぬ。博士前期課程の講義と合併授業であるので、担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目
第 1 年 次	研究指導 4	講義 4
第 2 年 次	研究指導 4	
第 3 年 次	研究指導 4	

心身科学研究科

心身科学研究科

1. 心理学専攻

授業科目・担当教員・履修方法
博士前期課程（心理学基礎コース）

区分	授業科目	単位数	担当教員
心理学特修科目	○ 実験心理学研究Ⅰ	演8	教授 博士(文学) 榊原雅人
	○ 実験心理学研究Ⅱ	演8	教授 博士(文学) 石田光男
	○ 実験心理学研究Ⅲ	演8	教授 博士(工学) 坂野雄一
	○ 計量心理学研究	演8	准教授 博士(心理学) 谷伊織
	△ ○ 社会心理学研究	演8	
	○ 産業心理学研究	演8	教授 博士(経済学) 高木浩人
心理学研究基幹科目	実験心理学研究Ⅰ-a・b	講春2・秋2	教授 博士(文学) 榊原雅人
	実験心理学研究Ⅱ-a・b	講春2・秋2	教授 博士(文学) 石田光男
	実験心理学研究Ⅲ-a・b	講春2・秋2	教授 博士(工学) 坂野雄一
	計量心理学研究 a・b	講春2・秋2	准教授 博士(心理学) 谷伊織
	社会心理学研究 a	講春2	非常勤講師 Ph. D. 唐沢穰
	△ 社会心理学研究 b	講秋2	
	産業心理学研究 a・b	講春2・秋2	教授 博士(経済学) 高木浩人
	人格心理学研究Ⅰ-a・b	講春2・秋2	教授 石川雅健
臨床心理学研究 a・b	講春2・秋2	教授 博士(教育学) 齋藤眞	
心身科学総論・特論	心身科学総論	講春学期2	オムニバス：石田光男・石田直章・宇野智子・長崎大・伊藤高行・杉浦春雄・丸山和佳子・榊原雅人・高木浩人・大澤功・城戸裕子・谷伊織・外ノ池隆史・古川博雄・山本正彦
	心身医学特論	講秋学期2	非常勤講師 医学博士 小出龍郎
	精神医学特論	講春学期2	オムニバス：牧田潔・西原真理・井野敬子・平澤克己・川口彰子・片山靖
	精神生理学特論	講秋学期2	教授 博士(文学) 榊原雅人
研究支援科目	△ 文献講読 a・b	講春2・秋2	

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

1. 心理学専攻博士前期課程基礎系コースの履修方法について

- (1) 心理学基礎コースの院生は当該コースの特修科目（修士論文ゼミナール）の中から1科目選定して専修科目とする。修士論文は専修科目によって作成すること。
- (2) 専修科目の演習8単位（1年次演習4単位、2年次演習4単位）を必修とする。
- (3) 専修科目の授業は、4単位制で進める。
- (4) 専修科目は、入学後にコース選択理由書及び研究計画書をもとに決定する。
- (5) 1年次春学期に選択した専修科目は、1年次秋学期に変更することができる。その後の変更は、特別な事情がない限り認めない。
- (6) 修了要件単位は、専修科目（演習8単位）を必修とし、心理学研究基幹科目のいずれか4単位以上を含めて36単位とする。
- (7) 心理学基礎コースの院生は、入学後、臨床心理学コースへの転入はできない。
- (8) 標準履修方法

年次	科目	専修科目	専修科目以外の科目	計
	第1年次		演4	講20
第2年次		演4	講8	12単位
計		演8	講28	36単位

博士前期課程（臨床心理学コース）（※新カリキュラム2024年度以降入学者用）

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員	
心理学特修科目	○ 臨床心理学研究Ⅰ	演8	教授 中村 薫	
	○ 臨床心理学研究Ⅱ	演8	教授 博士(教育学) 葛村 文	
	○ 臨床心理学研究Ⅲ	演8	教授 博士(医学) 牧田 健	
	○ 臨床心理学研究Ⅳ	演8	客員教授 博士(社会福祉学) 中島 藤	
	△ 臨床心理学研究Ⅴ	演8	教授 博士(教育学) 齋藤 一	
	○ 臨床心理学研究Ⅵ	演8	教授 博士(社会福祉学) 城戸 裕	
	○ 人格心理学研究Ⅰ	演8	教授 石川 雅	
	○ 人格心理学研究Ⅱ	演8	教授 博士(文学) 八田 純	
臨床心理士資格審査規定の必修科目	臨床心理学特論Ⅰ	講春学期2	教授 中村 薫	
	臨床心理学特論Ⅱ	講春学期2	教授 博士(教育学) 葛村 文	
	臨床心理面接特論Ⅰ (⑦心理支援に関する理論と実践)	講秋学期2	教授 博士(教育学) 葛村 文	
	臨床心理面接特論Ⅱ	講秋学期2	教授 中村 薫	
	臨床心理査定演習Ⅰ (⑥心理的アセスメントに関する理論と実践)	演春学期2	教授 博士(文学) 八田 純	
	臨床心理査定演習Ⅱ	演秋学期2	教授 博士(文学) 八田 純	
	臨床心理基礎実習	実通年2	教授 博士(医学) 牧田 健	
	臨床心理実習Ⅱ	実通年2	非常勤講師 博士(社会福祉学) 中島 健	
	臨床心理実習Ⅰ (⑩心理実践実習Ⅱ)	実通年2	客員教授 博士(医学) 中村 薫	
			特任講師 博士(医学) 葛村 文	
			分 担: 石川・中島・中村・葛・牧・八田	
			分 担: 石川・中島・中村・葛・牧・八田	
臨床心理学基幹科目	⑩ 心理実践実習Ⅲ a (医療領域学外実習)	実通年1	石川雅健・中島健一・中村薫・葛文 綺・牧田潔・八田純子・城戸裕子・ 牧野多恵子	
	⑩ 心理実践実習Ⅲ b (福祉領域学外実習)	実通年1		
	⑩ 心理実践実習Ⅲ c (教育領域学外実習)	実通年1		
	⑩ 心理実践実習Ⅲ d (司法領域学外実習)	実通年1		
	⑩ 心理実践実習Ⅲ e (産業領域学外実習)	実通年1		
	⑩ 心理実践実習Ⅰ	実通年2		
臨床心理士資格審査規定の選択必修科目	A群	心理学研究法特論	講春学期2	准教授 博士(心理学) 松岡 玲
		心理統計法特論	講秋学期2	准教授 博士(心理学) 谷 伊
	B群	臨床心理学研究法特論 a	講春学期2	教授 博士(教育学) 齋藤 眞
		臨床心理学研究法特論 b	講秋学期2	教授 博士(教育学) 齋藤 眞
	C群	認知心理学特論	講秋学期2	教授 博士(文学) 石田 光
		人格心理学特論 (⑨心の健康教育に関する理論と実践)	講春学期2	教授 石川 雅
		コミュニケーション心理学特論 (⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講春学期2	非常勤講師 P h. D. 唐 澤 穰
		産業・組織心理学特論 (⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	講春学期2	教授 博士(経済学) 高木 浩
		産業臨床心理学特論 (⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	講春学期2	教授 博士(医学) 牧田 潔
		犯罪心理学特論 (④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	講秋学期2	教授 中村 薫

心身科学研究科
心理学専攻

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
臨床心理学特論	臨床心理士資格審査規定の選択必修科目 D群 障害者(児)心理学特論 (②福祉分野に関する理論と支援の展開) 心身医学特論 (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) 精神生理学特論 (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) 精神医学特論 (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) E群 △心理療法特論Ⅱ (臨床動作法) △心理療法特論Ⅲ (認知行動療法) 学校臨床心理学特論 (③教育分野に関する理論と支援の展開) △臨床心理地域援助特論 (⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講春学期2	教授 博士(文学) 八 田 純 子
		講秋学期2	非常勤講師 医学博士 小 出 龍 郎
		講秋学期2	教授 博士(文学) 榊 原 雅 人
		講春学期2	オムニバス: 牧田潔・西原真理・井野敬子・平澤克己 ・川口彰子・片山靖
		講春学期2	客員教授 博士(社会福祉学) 中 島 健 一
		講秋学期2	教授 博士(文学) 八 田 純 子
		講春学期2	教授 博士(教育学) 葛 文 綺
心身科学総論・特論	心身科学総論	講春学期2	オムニバス: 石田光男・石田直章・ 宇野智子・長崎大・伊 藤高行・杉浦春雄・丸 山和佳子・榊原雅人・ 高木浩人・大澤功・城 戸裕子・谷伊織・外ノ 池隆史・古川博雄・山 本正彦
		講春2・秋2	
研究支援科目	△文献講読 a・b △心理学総合研究	講春2・秋2 講春学期2	オムニバス: 石田光男・榊原雅人・高 木浩人・中島健一・牧田 潔・八田純子・中村薫・葛 文綺

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、実は「実習」

博士前期課程（臨床心理学コース）（※旧カリキュラム2023年度以前入学者用）

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員	
心理学特修科目	○ 臨床心理学研究Ⅰ	演8	教授 中村 薫	
	○ 臨床心理学研究Ⅱ	演8	教授 博士(教育学) 葛村 文	
	○ 臨床心理学研究Ⅲ	演8	教授 博士(医学) 中島 健	
	○ 臨床心理学研究Ⅳ	演8	客員教授 博士(社会福祉学) 中島 健	
	△ 臨床心理学研究Ⅴ	演8	教授 博士(教育学) 中島 健	
	○ 臨床心理学研究Ⅵ	演8	教授 博士(社会福祉学) 藤城 戸川	
	○ 臨床心理学研究Ⅶ	演8	教授 博士(社会福祉学) 藤城 戸川	
	○ 人格心理学研究Ⅱ	演8	教授 博士(文学) 石川 純子	
臨床心理士資格審査規定の必修科目	臨床心理学特論Ⅰ	講春学期2	教授 中村 薫	
	臨床心理学特論Ⅱ	講春学期2	教授 博士(教育学) 葛村 文	
	臨床心理面接特論Ⅰ (⑦心理支援に関する理論と実践)	講秋学期2	教授 博士(教育学) 葛村 文	
	臨床心理面接特論Ⅱ	講秋学期2	教授 中村 薫	
	臨床心理査定演習Ⅰ (⑥心理的アセスメントに関する理論と実践)	演春学期2	教授 博士(文学) 八田 純子	
	臨床心理査定演習Ⅱ	演秋学期2	教授 博士(文学) 八田 純子	
	臨床心理基礎実習	実通年2	教授 博士(医学) 中島 健	
	臨床心理実習Ⅱ	実通年2	非常勤講師 博士(社会福祉学) 中島 健	
	臨床心理実習Ⅰ (⑩心理実践実習Ⅱ)	実通年2	客員教授 博士(社会福祉学) 中島 健	
	臨床心理実習Ⅰ (⑩心理実践実習Ⅱ)	実通年2	特任講師 博士(医学) 中村 薫	
臨床心理学基幹科目	⑩ 心理実践実習Ⅲ a (医療領域学外実習)	実通年2	石川雅健・中島健一・中村薫・葛文綺・牧田潔・八田純子・城戸裕子・牧野多恵子	
	⑩ 心理実践実習Ⅲ b (福祉領域学外実習)	実通年2		
	⑩ 心理実践実習Ⅲ c (教育領域学外実習)	実通年2		
	⑩ 心理実践実習Ⅲ d (司法領域学外実習)	実通年1		
	⑩ 心理実践実習Ⅲ e (産業領域学外実習)	実通年2		
	⑩ 心理実践実習Ⅰ	実通年2		
臨床心理士資格審査規定の選択必修科目	A群	心理学研究法特論	講春学期2	准教授 博士(心理学) 松岡 玲
	A群	心理統計法特論	講秋学期2	准教授 博士(心理学) 谷 弥伊
	A群	臨床心理学研究法特論 a	講春学期2	教授 博士(教育学) 齋藤 眞
	A群	臨床心理学研究法特論 b	講秋学期2	教授 博士(教育学) 齋藤 眞
	B群	認知心理学特論	講秋学期2	教授 博士(文学) 石田 光
	B群	人格心理学特論 (⑨心の健康教育に関する理論と実践)	講春学期2	教授 石川 雅
	C群	コミュニケーション心理学特論 (⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講春学期2	非常勤講師 P h. D. 唐 澤 穰
	C群	産業・組織心理学特論 (⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	講春学期2	教授 博士(経済学) 高木 浩人
	C群	産業臨床心理学特論 (⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	講春学期2	教授 博士(医学) 牧田 潔
	C群	犯罪心理学特論 (④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	講秋学期2	教授 中村 薫

心身科学研究科
心理学専攻

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
臨床心理学特論	臨床心理学士資格審査規定の選択必修科目 D群 障害者(児)心理学特論 (②福祉分野に関する理論と支援の展開) 心身医学特論 (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) 精神生理学特論 (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) 精神医学特論 (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) E群 △心理療法特論Ⅱ (臨床動作法) △心理療法特論Ⅲ (認知行動療法) △学校臨床心理学特論 (③教育分野に関する理論と支援の展開) △臨床心理地域援助特論 (⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講春学期2	教授 博士(文学) 八 田 純 子
		講秋学期2	非常勤講師 医学博士 小 出 龍 郎
		講秋学期2	教 授 博士(文学) 榊 原 雅 人
		講春学期2	オムニバス: 牧田潔・西原真理・井野敬子・平澤克己 ・川口彰子・片山靖
		講春学期2	客員教授 博士(社会福祉学) 中 島 健 一
		講秋学期2	教 授 博士(文学) 八 田 純 子
		講春学期2	教 授 博士(教育学) 葛 文 綺
心身科学総論・特論	心身科学総論	講春学期2	オムニバス: 石田光男・石田直章・ 宇野智子・長崎大・伊 藤高行・杉浦春雄・丸 山和佳子・榊原雅人・ 高木浩人・大澤功・城 戸裕子・谷伊織・外ノ 池隆史・古川博雄・山 本正彦
研究支援科目	△文献講読 a・b △心理学総合研究	講春2・秋2 講春学期2	オムニバス: 石田光男・榊原雅人・高 木浩人・中島健一・牧田 潔・八田純子・中村薫・葛 文綺

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、実は「実習」

2. 心理学専攻博士前期課程臨床心理学コースの履修方法について

【公認心理師・臨床心理士共通】

- (1) 臨床心理学コースの院生は当該コースの特修科目の中から1科目選定して専修科目とする。修士論文は専修科目によって作成すること。
- (2) 専修科目の演習8単位（1年次演習4単位、2年次演習4単位）を必修とする。
- (3) 専修科目の授業は、4単位制を進める。
- (4) 修士論文は、臨床心理学に関連するテーマで作成すること。
- (5) 研究内容、研究方法などによっては、(1)の専修科目指導教員に加えて、基礎系の教員の指導を受けて修士論文を作成することも出来る。
- (6) 上記(5)の場合、専修科目に加えて、その基礎系の教員が担当する特修科目（演習）を少なくとも4単位履修すること。
- (7) 専修科目の決定は、上記(6)の基礎系教員の特修科目を含め、入学後にコースの選択理由書及び研究計画書をもとに決定する。
- (8) 1年次春学期に選択した専修科目は、1年次秋学期に変更することができる。
- (9) 心理実践実習Ⅲ a～e（学外実習）は、修了要件単位に含めることができる。
- (10) 修了要件単位は、専修科目（演習8単位）を必修とし、臨床心理学基幹科目4単位を含めて36単位以上とする。
- (11) 心理学基礎コースからのコース変更や、他専攻、他大学大学院からの、臨床心理学コースへの転入を認めない。
- (12) 臨床心理学コースに属する院生の他は、臨床心理学基幹科目、および、臨床心理学特論（臨床心理士資格審査規定による選択必修科目）の中のE群を履修することはできない。
- (13) 臨床心理士受験資格を取得していない非正規生（研究生、聴講生、科目等履修生）の履修は認めない。

【実習費等】

- (1) 公認心理師や臨床心理士受験資格のための実習について別途定める金額（4万円：前年度実績）を入学年度初めに納めていること。
- (2) 上記以外にも、実習施設によっては別途費用（給食費等）が実費として必要になる。

【公認心理師受験資格を得るためには】上記2.【公認心理師・臨床心理士共通】の履修方法に加えさらに下記が必要

- (1) 学部段階での必要科目を履修して卒業していることを証明する書類（履修証明書）を出身大学から得ること。
- (2) ①～⑩の科目で各種別の単位取得をすること。
- (3) ①～⑨の同じ種類に属する科目は、複数単位取得する必要はない。ただし、⑩は時間数が重要になるので「心理実践実習Ⅰ・Ⅱ」の単位取得をすること。
- (4) 「心理実践実習Ⅲ a（医療領域学外実習）」の単位取得をすること。
- (5) 「心理実践実習Ⅲ b～e」では、少なくとも2種類の単位取得をすることが望ましい。
- (6) 「心理実践実習Ⅲ a～e」の単位認定は、それぞれでなされる。ただし、同じ領域の履修登録を2回行っても単位認定は加算されない。
- (7) 「心理実践実習」全体の実習時間を450時間以上行うこと。
- (8) 「心理実践実習Ⅱ・Ⅲ a～e」において「担当ケースに関する実習」を270時間以上行うこと。うち「心理実践実習Ⅲ a～e」における「担当ケースに関する実習」を90時間以上行うこと。
- (9) 臨床心理士受験資格指定必修科目「臨床心理基礎実習」「臨床心理実習Ⅱ」も単位取得することが望ましい。
- (10) 国家試験対策を考えて上記以外の科目も幅広く履修することが望ましい。
- (11) 本学大学院としての「履修証明書」の発行を受けること（費用は別途記載）。
- (12) 標準履修方法

年次 \ 科目	専修科目	専修科目以外の科目	計
第1年次	演4	講・演①～⑨10+他2以上、実⑩4	18単位以上
第2年次	演4	講・演①～⑨8+他2以上、実⑩6	18単位以上
計	演8	28以上（演2、実10を含む）	36単位以上

【臨床心理士受験資格を得るためには】上記2. 【公認心理師・臨床心理士共通】の履修方法に加えさらに下記が必要

- (1) 心理実践実習Ⅲ a～e (学外実習) は、臨床心理士資格審査規定の必修科目には含まれないが、臨床心理士受験資格取得を目指す場合、履修し単位取得することが望ましい。
- (2) 臨床心理士受験資格を取得するためには、①修士修了要件を満たし、②心理実践実習Ⅰ及びⅢ a～e を除く臨床心理学基幹科目（臨床心理士資格審査規定による必修科目）18単位を必ず取得し、かつ③臨床心理学特論（臨床心理士資格審査規定による選択必修科目）のA～E群からそれぞれ最低1科目、合計5科目以上、10単位以上を取得しなければならない。
- (3) E群の履修科目を公認心理師科目として読み替える場合には、その科目は臨床心理士資格審査規定の選択必修科目として履修認定されないので、E群からさらに1科目を取得すること。
- (4) 標準履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	専修科目以外の科目	計
第 1 年 次	演 4	講10以上 演 4 実 2 以上	20単位以上
第 2 年 次	演 4	講 8 以上 実 4 以上	16単位以上
計	演 8	28(演 4 実 6 を含む)	36単位以上

博士後期課程

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○ 実 験 心 理 学 研 究	研究指導12	教 授 博 士(文学) 榊 原 雅 人
△○ 社 会 心 理 学 研 究	研究指導12	
○ 産 業 心 理 学 研 究	研究指導12	教 授 博 士(経済学) 高 木 浩 人
△○ 臨 床 心 理 学 研 究	研究指導12	教 授 博 士(教育学) 齋 藤 眞
○ 臨 床 心 理 学 研 究	研究指導12	客員教授 博 士(社会福祉学) 中 島 健 一
心理学研究特講(I)	講義4	石田光男・高木浩人・榊原雅人・中島健一

○印は心理学特修科目、△印は本年度開講せず

1. 心理学特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その「研究指導」の履修を必修とする。
2. 特講は単独の授業は行われない。博士前期課程の講義か演習と合併授業であるので、担当者と相談の上、履修すること。
3. 履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目
第 1 年 次	研究指導4	講義4
第 2 年 次	研究指導4	
第 3 年 次	研究指導4	

心身科学研究科

2. 健康科学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程

区分	授業科目	単位数	担当教員
基礎科学	心身科学総論	(講2)	オムニバス：石田光男・石田直章・宇野智子・長崎大・伊藤高行・杉浦春雄・丸山和佳子・榊原雅人・高木浩人・大澤功・城戸裕子・谷伊織・外ノ池隆史・古川博雄・山本正彦
健康科学研究科目	健康スポーツ科学領域	○健康スポーツ医学研究Ⅰ (演8)	客員教授 博士(医学) 石田直章
	○健康スポーツ医学研究Ⅰ (演8)	教授 博士(医学) 杉浦春雄	
	○健康スポーツ医学研究Ⅰ (演8)	教授 博士(医学) 長崎大和	
	○健康スポーツ医学研究Ⅰ (演8)	准教授 博士(政策科学) 内藤正輝	
	○健康スポーツ医学研究Ⅰ (演8)	准教授 博士(コーチング学) 渡辺輝也	
	○健康スポーツ医学研究Ⅱ (演8)	教授 博士(医学) 宇野智子	
	○健康スポーツ医学研究Ⅱ (演8)	教授 博士(医学) 伊藤高行	
	△○健康スポーツ医学研究Ⅲ (演8)		
	健康教育科学領域	○健康教育評価学研究 (演8)	教授 博士(医学) 大澤功
	○健康教育評価学研究 (演8)	教授 博士(医学) 大澤智之	
	○地域健康教育学研究 (演8)	教授 博士(健康科学) 下村淳子	
	○地域健康教育学研究 (演8)	准教授 博士(看護学) 竹中香名子	
	精神健康科学領域	○精神健康科学研究 (演8)	教授 博士(医学) 外ノ池隆史
	生命健康科学領域	○生命健康科学研究 (演8)	准教授 博士(学術) 市原啓子
	言語聴覚科学領域	○言語聴覚科学研究 (演8)	教授 医学博士 山本正彦
	○言語聴覚科学研究 (演8)	教授 博士(医学) 辰巳寛雄	
	○言語聴覚科学研究 (演8)	教授 博士(歯学) 古川博和	
	○言語聴覚科学研究 (演8)	教授 博士(歯学) 牧野日和	
○言語聴覚科学研究 (演8)	准教授 博士(歯学) 早川統子		
健康栄養科学領域	○栄養機能学研究 (演8)	教授 博士(医学) 丸山和佳子	
○栄養機能学研究 (演8)	准教授 博士(農学) 上野有紀		
○実践栄養学研究 (演8)	教授 博士(医学) 森圭子		
△○実践栄養学研究 (演8)			
健康科学基幹科目	健康スポーツ医学Ⅰ (講4)	客員教授 博士(医学) 石田直章 教授 博士(医学) 杉浦春雄 教授 博士(医学) 長崎大和 准教授 博士(コーチング学) 渡辺輝也 准教授 博士(政策科学) 内藤正輝 教授 博士(医学) 伊藤高行	
	健康スポーツ医学Ⅱ (講4)	教授 博士(医学) 宇野智子	
	△健康スポーツ医学Ⅲ (講4)		
	健康教育評価学 (講4)	教授 博士(医学) 大澤功	
	地域健康教育学 (講4)	教授 博士(健康科学) 下村淳子 准教授 博士(看護学) 竹中香名子	
	精神健康科学 (講4)	教授 博士(医学) 外ノ池隆史	
	生命健康科学 (講4)	准教授 博士(学術) 市原啓子	
	言語聴覚病態学 (講4)	教授 医学博士 山本正彦 教授 博士(医学) 辰巳寛雄 教授 博士(歯学) 古川博和 教授 博士(歯学) 牧野日和 准教授 博士(歯学) 早川統子	
	栄養機能学 (講4)	教授 博士(医学) 丸山和佳子 准教授 博士(農学) 上野有紀	
	実践栄養学 (講4)	教授 博士(医学) 森圭子	

健康科学研究科

区分	授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
健康科学特論・演習・実習	生活習慣病論特論	(講秋学期2)	教 授 博士(医学) 大 澤 功
	健康スポーツ生理学特論	(講春学期2)	客員教授 博士(医学) 石 田 直 章
	スポーツ心理学特論	(講春学期2)	教 授 博士(医学) 長 崎 大 義
	環境健康衛生学特論	(講秋学期2)	教 授 高 田 正 義
	臨床医療科学特論	(講秋学期2)	教 授 博士(医学) 大 澤 功
			教 授 博士(医学) 外ノ池 隆 史
			教 授 博士(医学) 渡 邊 智 之
			教 授 博士(医学) 伊 藤 高 行
			教 授 博士(医学) 宇 野 智 子
	分子栄養学特論	(講秋学期2)	教 授 博士(医学) 丸 山 和 佳 子
	疾病栄養学特論	(講秋学期2)	教 授 博士(医学) 丸 山 和 佳 子
	言語聴覚病態学特論	(講秋学期2)	教 授 医学博士 山 本 正 彦
	健康スポーツ生理学	(演春学期2)	客員教授 博士(医学) 石 田 直 章
			教 授 博士(医学) 杉 浦 春 雄
			教 授 博士(医学) 長 崎 大
	地域健康ネットワーク学	(演春学期2)	教 授 博士(健康科学) 下 村 淳 子
			准 教 授 博士(看護学) 竹 中 香 名 子
	生命健康科学	(実通年2)	准 教 授 博士(学術) 市 原 啓 子
	言語聴覚病態学	(実1年通年4) (実2年通年2)	教 授 医学博士 山 本 正 彦
			教 授 博士(歯学) 古 川 博 雄
		教 授 博士(医学) 辰 巳 寛	
		教 授 博士(歯学) 牧 野 日 和	
		准 教 授 博士(歯学) 早 川 統 子	
栄養機能学特論	(講春学期2)	准 教 授 博士(農学) 上 野 有 紀	
食品機能学特論	(講春学期2)	准 教 授 博士(農学) 上 野 有 紀	
△栄養教育学特論	(講秋学期2)		
食育学特論	(講春学期2)	教 授 博士(栄養科学) 早 瀬 須 美 子	
公衆栄養学特論	(講春学期2)	教 授 博士(医学) 森 圭 子	
地域栄養学特論	(講秋学期2)	教 授 博士(医学) 森 圭 子	
△臨床栄養学特論	(講春学期2)		
ライフステージ栄養学特論	(講春学期2)	教 授 博士(栄養科学) 早 瀬 須 美 子	
健康栄養学演習	(演春学期2)	教 授 博士(医学) 丸 山 和 佳 子	
		教 授 博士(医学) 森 圭 子	
		准 教 授 博士(農学) 上 野 有 紀	
		教 授 博士(栄養科学) 早 瀬 須 美 子	
研究支援科目	文 献 講 読	(講通年4)	大澤功・山本正彦・森圭子・外ノ池隆史・長崎大・宇野智子・丸山和佳子・渡邊智之・辰巳寛・市原啓子・石田直章・伊藤高行・下村淳子・牧野日和・杉浦春雄・古川博雄・早川統子・上野有紀・渡辺輝也・竹中香名子・内藤正和

○印は専攻科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、実は「実習」

1. 心身科学総論（健康科学基礎科目）講義2単位は、必修とする。
2. 健康科学研究科目の中から、1科目を選定して専攻科目とする。
修士論文は、専攻科目によって作成すること。
3. 専攻科目の演習8単位（1年次演習4単位、2年次演習4単位）を必修とする。
4. 健康科学基幹科目の中から、1科目4単位以上を選択履修すること。
5. 文献講読（研究支援科目）講義4単位を履修すること。
以上の要件を含めて、合計34単位を履修すること。
6. 標準履修方法

(1) 健康スポーツ科学領域

年次 \ 科目	専攻科目	専攻科目以外の科目	計
第1年次	演習4	講義24 演習2	30単位
第2年次	演習4		4単位
計	演習8	講義24 演習2	34単位

(2) 健康教育科学領域

年次 \ 科目	専攻科目	専攻科目以外の科目	計
第1年次	演習4	講義24	28単位
第2年次	演習4	演習2	6単位
計	演習8	講義24 演習2	34単位

(3) 精神健康科学領域

年次 \ 科目	専攻科目	専攻科目以外の科目	計
第1年次	演習4	講義24	28単位
第2年次	演習4	演習2	6単位
計	演習8	講義24 演習2	34単位

(4) 生命健康科学領域

年次 \ 科目	専攻科目	専攻科目以外の科目	計
第1年次	演習4	講義24 実習2	30単位
第2年次	演習4		4単位
計	演習8	講義24 実習2	34単位

(5) 言語聴覚科学領域

年次 \ 科目	専攻科目	専攻科目以外の科目	計
第1年次	演習4	講義14 実習4	22単位
第2年次	演習4	講義6 実習2	12単位
計	演習8	講義20 実習6	34単位

(6) 健康栄養科学領域

年次 \ 科目	専攻科目	専攻科目以外の科目	計
第1年次	演習4	講義24 演習2	30単位
第2年次	演習4		4単位
計	演習8	講義24 演習2	34単位

(注) 専修免許状を取得するには、基幹科目、特論、演習から合計24単位が必要です。
免許状によって必要な科目が異なるので注意してください。

博士後期課程

授 業 科 目		単 位 数	担 当 教 員
健康科学研究科目	○健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 伊 藤 高 行
	○健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 大 澤 功
	○健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 外ノ池 隆 史
	健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(健康科学) 下 村 淳 子
	健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 宇 野 智 子
	健康増進科学研究	研究指導 12	客員教授 博士(医学) 石 田 直 章
	健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 杉 浦 春 雄
	健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 長 崎 大
	○健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 渡 邊 智 之
	○健康増進科学研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 丸 山 和 佳 子
	○言語遺伝情報研究	研究指導 12	教 授 医学博士 山 本 正 彦
	○言語遺伝情報研究	研究指導 12	准 教 授 博士(学術) 市 原 啓 子
	○言語遺伝情報研究	研究指導 12	教 授 博士(医学) 辰 巳 寛
	健康科学特論科目	先端健康科学特論	講義(通年) 4
健康科学研究方法論		講義(通年) 4	オムニバス：大澤功・山本正彦・下村淳子・外ノ池隆史・辰巳寛・丸山和佳子・市原啓子・伊藤高行・長崎大・渡邊智之・宇野智子・石田直章・杉浦春雄
健康科学実験方法実習		実習(通年) 2	オムニバス：山本正彦・長崎大・宇野智子・丸山和佳子・市原啓子・伊藤高行・渡邊智之

○印は専攻科目、△印は本年度開講せず

- 健康科学研究科目の中から専攻科目1科目を選定し、その「研究指導」12単位および、「健康科学特論科目」10単位の履修を必修する。
- 履修方法

年次	科目		健康科学特論科目
	健康科学研究科目		
第 1 年 次	研究指導	4 単位	先端健康科学特論(講義) 4 単位 健康科学研究方法論(講義) 4 単位 健康科学実験方法実習(実習) 2 単位
第 2 年 次	研究指導	4 単位	
第 3 年 次	研究指導	4 単位	

商 学 研 究 科

商 学 研 究 科

商学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程(2023年度以降入学者適用)

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、文は「文献」

名城公園キャンパス開講科目

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○ 流通論研究(I)(流通論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 青 木 均
○ 流通論研究(II)(流通政策)A・B	(講2・2 演8)	教 授 博士(法学)・博士(経営法)・博士(経営学) 岡 野 純 司
流通論研究(III)(商業史)	(講2)	教 授 博士(法学)・博士(経営法)・博士(経営学) 岡 野 純 司
○ マーケティング論研究(I)-1(マーケティング論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 脇 田 弘 久
○ マーケティング論研究(I)-2(マーケティング論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 秋 本 昌 士
△○ マーケティング論研究(II)(製品・ブランド戦略論)A・B	(講2・2 演8)	
○ 国際ビジネス論研究(I)(貿易制度論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 城 隆
○ 国際ビジネス論研究(II)(ビジネス戦略)A・B	(講2・2 演8)	客員教授 博士(商学)・博士(学術) 梶 浦 雅 己
△○ 金融論研究(I)(金融システム論)A・B	(講2・2 演8)	
△○ 金融論研究(II)(証券論)A・B	(講2・2 演8)	
△○ 金融論研究(III)(保険論)A・B	(講2・2 演8)	
○ 会計学研究(I)(財務会計論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 博士(経営学) 野 口 倫 央
○ 会計学研究(II)(会計制度論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 中 山 重 穂
○ 会計学研究(III)(国際会計基準論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 伊 藤 徳 正
△○ 会計学研究(IV)(管理会計論)A・B	(講2・2 演8)	
△ 会計学研究(V)(税務会計論)A・B	(講2・2)	
○ 租税法研究(I)(租税法実務)A・B	(講2・2 演8)	教授(客員) 四方田 彰
租税法研究(II)(個人・企業税務)	(講2)	教授(客員) 四方田 彰
租税法研究(III)(取引関係税務)	(講2)	教授(客員) 四方田 彰
租税法研究(IV)(租税制度)A・B	(講2・2)	教授(客員)(兼担) 細 川 潔
○ ビジネス情報論研究(I)(情報システム論)A・B	(講2・2 演8)	教 授 吉 田 聡
△○ ビジネス情報論研究(II)(データサイエンス)A・B	(講2・2 演8)	
△○ ビジネス情報論研究(III)(マルチメディア論)A・B	(講2・2 演8)	
△ ビジネス情報論研究(IV)(インターネットビジネス)A・B	(講2・2)	
△ ビジネス情報論研究(V)(産業連関分析)A・B	(講2・2)	
△ ビジネス情報論研究(VI)(情報ネットワーク論)A・B	(講2・2)	
△ ビジネス情報論研究(VII)(情報セキュリティ)A・B	(講2・2)	
△ ビジネス情報論研究(VIII)(システム開発論)A・B	(講2・2)	
文 献 講 読 研 究	(文2)	青木均 秋本昌士 伊藤徳正 梶浦 雅己(留学生) 城隆 中山重穂 野口倫央 吉田聡 脇田弘久

博士前期課程（2023年度以降入学者適用）

○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、文は「文献」

名城公園キャンパス夜間および土曜日開講科目

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員	
マーケティング論研究(I)-I(マーケティング論)A・B	(講2・2)	教 授	脇 田 弘 久
△○ 会計学研究(I)(財務会計論)A・B	(講2・2 演8)	教 授	中 山 重 穂
会計学研究(II)(会計制度論)A・B	(講2・2)		
会計学研究(III)(国際会計基準論)A・B	(講2・2)	教 授	伊 藤 徳 正
△ 会計学研究(IV)(管理会計論)A・B	(講2・2)	非常勤講師	二 村 友 佳 子
会計学研究(V)(税務会計論)A・B	(講2・2)		
○ 租税法研究(I)(租税法実務)A・B	(講2・2 演8)	教授(客員)	四 方 田 彰
△ 租税法研究(II)(個人・企業税務)	(講2)		
△ 租税法研究(III)(取引関係税務)	(講2)		
△ 特殊講義(I)(現代証券市場)	(講2)		
特殊講義(II)(簿記論A)	(講2)	非常勤講師	二 村 友 佳 子
特殊講義(III)(簿記論B)	(講2)	非常勤講師	二 村 友 佳 子

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位（講A2・講B2・演8）を必修とする。
2. 専修科目以外の科目から20単位（講16・文4）以上を選択履修すること。
3. 文献講読については、一般入試入学者は4単位必修、社会人入試入学者は選択とする。
4. 修士論文は、専修科目によって作成すること。
5. 留学生は文献講読研究（留学生）を履修することが望ましい。
6. 標準履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	専修科目以外の科目	計
第 1 年 次	講4 (A2、B2) 演4	講8 文4	20単位
第 2 年 次		演4 講8	12単位
計	講4 (A2、B2) 演8	講16 文4	32単位

博士後期課程（2023年度以降入学者適用）

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○流通論研究	研究指導12	教授 青木均
○マーケティング論研究	研究指導12	教授 脇田弘久
○マーケティング論研究	研究指導12	教授 秋本昌士
△○貿易論研究	研究指導12	
○国際ビジネス論研究	研究指導12	客員教授 博士(商学)・博士(学術) 梶浦雅己
△○金融論研究	研究指導12	
△○証券論研究	研究指導12	
△○保険論研究	研究指導12	
○財務会計論研究	研究指導12	教授 伊藤徳正
○財務会計論研究	研究指導12	教授 中山重徳
△○管理会計論研究	研究指導12	
○ビジネス情報論研究	研究指導12	教授 吉田聡
○商学研究特講	講義4	青木均・秋本昌士・伊藤徳正・梶浦雅己・城隆 中山重徳・吉田聡・四方田彰・脇田弘久

○印は特修科目、△印は本年度開講せず

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
2. 研究指導以外の科目(講義)から4単位以上選択履修すること。
3. 講義は単独の授業は行われぬ。博士前期課程の講義と合併であるので、担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 標準履修方法

年次	科目	専 修 科 目	選 択 科 目	計
第 1 年 次		研究指導 4	講義 4	8 単位
第 2 年 次		研究指導 4		4 単位
第 3 年 次		研究指導 4		4 単位
計		研究指導12	講義 4	16単位

経営学研究科

経営学研究科

経営学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程 ○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、文は「文献」

授 業 科 目		単 位 数	担 当 教 員
基礎科目	○経営原理研究	(講4・演8・文4)	教授 博士(経済学) 津田 秀和
	△○経営管理研究	(講4・演8・文4)	
応用科目	組織マネジメント	○経営組織研究	(講4・演8・文4) 教授 博士(経済学) 古澤 和行
		○人的資源管理研究	(講4・演8・文4) 教授 関 千里
		△○国際経営研究	(講4・演8・文4)
		△○経営戦略研究	(講4・演8・文4)
		○中小企業経営研究	(講4・演8・文4) 教授 林 伸彦
	生産・マーケティング	○マーケティング研究	(講4・演8・文4) 准教授 博士(商学) 金澤 敦史
		○経営情報システム研究 経営システム工学研究	(講4) 教授 博士(経営学) 林 幹人
		○経営統計研究	(講4・演8・文4) 准教授 博士(経済学) 千葉 賢
	会計・ファイナンス	○財務会計研究	(講4・演8・文4) 教授 博士(経営学) 向 伊知郎
		△会計・監査研究(I) (財務会計論)	(講4)
○会計・監査研究(II) (会計制度論)		(講4・演8・文4) 教授 平賀 正剛	
○原価計算・管理会計研究		(講4・演8・文4) 教授 飯島 康道	
○財務管理研究 税務会計研究		(講4・演8・文4) 教授 博士(経営学) 西海 学 非常勤講師 二村 友佳子	
経営実践関連科目	△経営管理特別研究(I)	(講2)	
	△経営管理特別研究(IV) (インターンシップ)	(講2)	
	△研究支援科目	(講2)	
	△特殊講義	(講4)	

博士前期課程 ○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」、文は「文献」
 夜間および土曜日開講科目（原則として社会人のみ）

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○経 営 原 理 研 究 (講4・演8・文4)	(講4・演8・文4)	教 授 博士(経済学) 津 田 秀 和
○財 務 会 計 研 究 (講4・演8・文4)	(講4・演8・文4)	教 授 博士(経営学) 向 伊 知 郎
○会 計 ・ 監 査 研 究 (Ⅱ) (会 計 制 度 論)	(講4・演8・文4)	教 授 平 賀 正 剛
○原 価 計 算 ・ 管 理 会 計 研 究 (講4・演8・文4)	(講4・演8・文4)	教 授 飯 島 康 道
○財 務 管 理 研 究 (講4)	(講4)	教 授 博士(経営学) 西 海 学
税 務 会 計 研 究 (講2)	(講2)	非 常 勤 講 師 二 村 友 佳 子
経 営 管 理 特 別 研 究 (Ⅱ) A (財 務 諸 表 論)	(講2)	非 常 勤 講 師 東 海 裕 之
経 営 管 理 特 別 研 究 (Ⅱ) B (財 務 諸 表 論)	(講2)	非 常 勤 講 師 東 海 裕 之
経 営 管 理 特 別 研 究 (Ⅲ) A (相 続 税 法)	(講2)	非 常 勤 講 師 東 海 裕 之
経 営 管 理 特 別 研 究 (Ⅲ) B (相 続 税 法)	(講2)	非 常 勤 講 師 東 海 裕 之

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選択し、その16単位(講義4・演習8・文献4)を必修すること。
2. 専修科目以外の科目から16単位(講義16)以上選択履修すること。
3. 修士論文は、専修科目によって作成すること。
4. 履修方法(例)

科目 年次	専 修 科 目	専修科目以外の科目	計
第 1 年 次	講 4 演 4 文 2	講 8	18単位
第 2 年 次	演 4 文 2	講 8	14単位
計	講 4 演 8 文 4	講 16	32単位

博士後期課程 ○印は特修科目、△印は本年度開講せず

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○ 経 営 原 理 研 究	研究指導12	教 授 博 士(経済学) 津 田 秀 和
○ 経 営 組 織 研 究	研究指導12	教 授 博 士(経済学) 古 澤 和 行
中 小 企 業 経 営 研 究	研究指導12	教 授 林 伸 彦
○ 経 営 情 報 シ ス テ ム 研 究	研究指導12	教 授 博 士(経営学) 林 幹 人
○ 経 営 統 計 研 究	研究指導12	准 教 授 博 士(経済学) 千 葉 賢
○ 会 計 学 原 理 研 究	研究指導12	教 授 博 士(経営学) 向 伊 知 郎
会 計 ・ 監 査 研 究	研究指導12	教 授 平 賀 正 剛
原 価 計 算 ・ 管 理 会 計 研 究	研究指導12	教 授 飯 島 康 道
○ 財 務 管 理 研 究	研究指導12	教 授 博 士(経営学) 西 海 学
経 営 学 特 論	講 義 4	飯島康道・古澤和行・津田秀和・西海学・林伸彦・林幹人・平賀正剛・向伊知郎・千葉賢
文 献 講 読	文 献 2	飯島康道・古澤和行・津田秀和・西海学・林伸彦・林幹人・平賀正剛・向伊知郎・千葉賢

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
2. 研究指導以外の科目(講義または文献)から4単位以上選択履修すること。
3. 講義および文献は単独の授業は行われない。博士前期課程の講義、文献と合併であるので、担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 履修方法(例)

例1

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目	計
第 1 年 次	研究指導 4	講義 4	8 単位
第 2 年 次	研究指導 4		4 単位
第 3 年 次	研究指導 4		4 単位
計	研究指導12	講義 4	16 単位

例2

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目	計
第 1 年 次	研究指導 4	文献 2	6 単位
第 2 年 次	研究指導 4	文献 2	6 単位
第 3 年 次	研究指導 4		4 単位
計	研究指導12	文献 4	16 単位

経済学研究科

経済学研究科

経済学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

修士課程 ○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○ミマク口経済学 I・II (講2・2)	(講2・2)	准教授 博士(経済学) 岡谷良二
○マク口経済学 I・II (講2・2)	(講2・2)	非常勤講師 博士(経済学) 森大塚雄一郎
○○経済思想史 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 大二塚谷智太子
○○日本経済史 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 大二塚谷井川誠史
○○西洋経済史 I・II (講2・2)	(講2・2)	准教授 博士(経済学) 大二塚藤川清史
○○経済政策論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 大二塚吉村臨兵彦
○○社会政策論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 大二塚吉田雅万
○○現代財政論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 大二塚近水藤野
○○金融論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 大二塚近水野伸
○○国際経済論 I・II (講2・2)	(講2・2)	非常勤講師 博士(経済学) 西尾圭一郎
○○アジア経済発展論 I・II (講2・2)	(講2・2)	非常勤講師 博士(経済学) 西尾圭一郎
○○現代日本経済論 I・II (講2・2)	(講2・2)	講師 博士(経済学) 三好向洋子
△○労働経済学 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(国際公共政策) 三武内真美子
△○環境経済学 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 関根佳恵
○○農業政策論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 関根佳恵
○○地域経済産業論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 関近藤隆正
○○計量経済分析 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授 博士(経済学) 関近藤隆正
○○経済情報管理論 I・II (講2・2)	(講2・2)	准教授 博士(経済学) 葛西川潔
○○租税制度論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授(客員) 細川川潔
○○所得税法 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授(客員) 細川川潔
○○消費税法 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授(客員) 細川川潔
○○法人税法 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授(客員) 四方田彰
○○財務会計論 I・II (講2・2)	(講2・2)	教授(兼任) 博士(経営学) 向二伊知郎
○○簿記論 I・II (講2・2)	(講2・2)	非常勤講師 博士(経済学) 向二村友佳子
○○経済学特論 I (経済数学・統計学) (講2)	(講2)	非常勤講師 博士(経済学) 近藤友佳子
△○経済学特論 II (経済原論) (講2)	(講2)	教授 博士(経済学) 近藤友佳子
△○経済学特論 III (財政学・財政事情) (講2)	(講2)	教授 博士(経済学) 吉田雅彦
△○経済学特論 IV (地域社会と地域行政) (講2)	(講2)	教授 博士(経済学) 吉田雅彦
研究演習(ミマク口経済学) (演8)	(演8)	准教授 博士(経済学) 岡谷良二
△研究演習(マク口経済学) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚谷智太子
研究演習(経済思想史) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚谷井川誠史
研究演習(日本経済史) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚藤川清史
研究演習(西洋経済史) (演8)	(演8)	准教授 博士(経済学) 大二塚吉村臨兵彦
研究演習(経済政策論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚吉田雅万
研究演習(社会政策論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚近水藤野
研究演習(現代財政論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚近水野伸
研究演習(金融論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 大二塚近水野伸
研究演習(グローバル金融論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 西尾圭一郎
△研究演習(国際経済論) (演8)	(演8)	講師 博士(経済学) 三好向洋子
△研究演習(現代日本経済論) (演8)	(演8)	教授 博士(国際公共政策) 三武内真美子
△研究演習(労働経済学) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 関根佳恵
△研究演習(環境経済学) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 関根佳恵
研究演習(農業政策論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 関近藤隆正
研究演習(地域経済産業論) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 関近藤隆正
研究演習(計量経済分析) (演8)	(演8)	教授 博士(経済学) 葛西川潔
研究演習(経済情報管理論) (演8)	(演8)	准教授 博士(経済学) 葛西川潔
研究演習(租税制度論) (演8)	(演8)	教授(客員) 細川川潔

○印は特修科目

1. 特修科目から専修科目1科目を選定し、その12単位（講義4単位、研究演習8単位）を必修すること。
2. 専修科目以外の特修科目及び講義科目から20単位以上を修得すること。
3. 修士論文又は課題探求報告書は、研究演習科目によって作成し、その審査に合格すること。
4. 標準履修方法

年次	科目	専修科目と研究演習	それ以外の講義科目	計
第1年次		講4(I2、II2)演4	講12	20単位
第2年次		演4	講8	12単位
計		講4(I2、II2)演8	講20	32単位

法 学 研 究 科

法 学 研 究 科

法律学専攻

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程 ○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」
名城公園キャンパス開講科目

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員	
○民法研究(Ⅰ)	(講4・演8)	教 授	鈴木伸智
○商法研究(Ⅰ)	(講4・演8)	教 授	南川和範
△法制史研究	(講4)		
○民事訴訟法研究	(講4・演8)	客員教授	高木敬一
○法哲学研究(Ⅱ)	(講4・演8)	教 授	鈴木慎太郎
△○憲法研究(Ⅰ)	(講4・演8)		
○行政法研究(Ⅱ)	(講4・演8)	教 授	小林明夫
△社会法研究 (労働法・社会保障法)	(講4)		
△国際法研究	(講4)		
△○宗教法研究	(講4・演8)		
○刑事法研究(Ⅱ)	(講4・演8)	教 授	三上正隆
△○政治学研究(Ⅰ)	(講4・演8)		
○政治学研究(Ⅳ)	(講4・演8)	教 授	中谷毅
○租税法研究(Ⅰ)	(講4・演8)	教授(客員)	山田京子
○租税法研究(Ⅱ)	(講4・演8)	教授(客員)	川崎賢二
○租税法研究(Ⅲ)	(講4・演8)	教 授 博士(経済学)	中嶋美樹子
△○租税法研究(Ⅳ)	(講4・演8)		
特殊講義(Ⅰ) (所得税法)	(講4)	教 授 博士(経済学)	中嶋美樹子
特殊講義(Ⅱ) (法人税法)	(講4)	教授(客員)	川崎賢二
△特殊講義(Ⅲ) (国際租税法)	(講4)	教 授 博士(経済学)	中嶋美樹子
特殊講義(Ⅳ) (消費税法)	(講4)	非常勤講師	水野誠
特殊講義(Ⅴ) (相続税法)	(講4)	教授(客員)	山田京子

博士前期課程 ○印は特修科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

名城公園キャンパス夜間および土曜日開講科目

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員	
○ 民 法 研 究 (Ⅱ)	(講4・演8)	教 授	佐藤 啓子
○ 商 法 研 究 (Ⅲ)	(講4)	教 授 博士(法学)	村上 康司
○ 法 哲 学 研 究 (Ⅰ)	(講4・演8)	教 授	堅田 研一
○ 憲 法 研 究 (Ⅱ)	(講4・演8)	教 授	飯野 賢一
○ 行 政 法 研 究 (Ⅰ)	(講4・演8)	教 授	杉原 丈史
○ 刑 事 法 研 究 (Ⅰ)	(講4・演8)	客員教授 博士(法学)	服部 朗
○ 政 治 学 研 究 (Ⅱ)	(講4・演8)	教 授	栗田 直樹
○ 租 税 法 研 究 (Ⅰ)	(講4・演8)	教授(客員)	山田 京子
○ 租 税 法 研 究 (Ⅱ)	(講4・演8)	教授(客員)	川崎 賢二
○ 租 税 法 研 究 (Ⅲ)	(講4・演8)	教 授 博士(経済学)	中嶋 美樹子
△○ 租 税 法 研 究 (Ⅳ)	(講4・演8)		
特 殊 講 義 (Ⅰ) (所 得 税 法)	(講4)	教 授 博士(経済学)	中嶋 美樹子
特 殊 講 義 (Ⅱ) (法 人 税 法)	(講4)	教授(客員)	川崎 賢二
△ 特 殊 講 義 (Ⅲ) (国 際 租 税 法)	(講4)	教 授 博士(経済学)	中嶋 美樹子
特 殊 講 義 (Ⅳ) (消 費 税 法)	(講4)	非常勤講師	水野 誠
特 殊 講 義 (Ⅴ) (相 続 税 法)	(講4)	教授(客員)	山田 京子

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位（講4・演8）を必修とする。
2. 専修科目以外の科目から20単位（講義20）以上を選択履修すること。
3. 修士論文は、専修科目によって作成すること。
4. 標準履修方法

年次 \ 科目	専 修 科 目	専修科目以外の科目	計
第 1 年 次	講4 演4	講12	20単位
第 2 年 次	演4	講8	12単位
計	講4 演8	講20	32単位

博士後期課程

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
○民 法 研 究	研究指導12	教 授 佐藤啓子
○民 法 研 究	研究指導12	教 授 鈴木伸智
○商 法 研 究	研究指導12	教 授 南川和範
○民 事 訴 訟 法 研 究	研究指導12	客員教授 高木敬一
○法 哲 学 研 究	研究指導12	教 授 堅田研一
○法 哲 学 研 究	研究指導12	教 授 鈴木慎太郎
○憲 法 研 究	研究指導12	教 授 飯野賢一
○行 政 法 研 究	研究指導12	教 授 杉原丈史
○行 政 法 研 究	研究指導12	教 授 小林明夫
○政 治 学 研 究	研究指導12	教 授 栗田直樹
○政 治 学 研 究	研究指導12	教 授 中谷毅
○刑 事 法 研 究	研究指導12	客員教授 博士(法学) 服部朗
法 学 研 究 特 講	講 義 4	飯野賢一・堅田研一・栗田直樹・小林明夫・佐藤啓子・鈴木慎太郎・鈴木伸智・杉原丈史・高木敬一・中谷毅・服部朗・南川和範

○印は特修科目、△印は本年度開講せず

1. 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修とする。
2. 法学研究特講4単位を必修とする。
3. 法学研究特講の履修登録に当たっては、専修科目担当者と相談の上、履修すること。
4. 博士論文は専修科目によって作成すること。
5. 履修方法(例)

年次 \ 科目	専 修 科 目	選 択 科 目	計
第 1 年 次	研究指導 4	法学研究特講 4	8 単位
第 2 年 次	研究指導 4		4 単位
第 3 年 次	研究指導 4		4 単位
計	研究指導12	法学研究特講 4	16単位

総合政策研究科

総合政策研究科

総合政策専攻（※新カリキュラム 2022年度入学者より適用）

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程 ○印は専攻科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

授 業 科 目	単 位 数	担 当 教 員
総合政策概論	(講2)	教授 森 正 客員教授 岩 一 教授 田 橋 健 教授 石 杉 和 教授 杉 中 村 悦 教授 森 下 英 教授 山 旗 張 教授 山 下 星 准教授 小 旗 拓 准教授 鈴 城 佳 准教授 太 幡 直 准教授 三 岩 浦 一 客員教授 小 岩 田 和 准教授 鈴 城 木 拓 准教授 太 幡 佳 教授 森 正 一 教授 石 杉 健 教授 杉 中 村 悦 教授 森 下 英 教授 山 旗 張 教授 山 下 星 准教授 小 旗 拓 准教授 鈴 城 佳 准教授 太 幡 直 准教授 三 岩 浦 一
人間科学基礎論	(講2)	教授 森 正 客員教授 岩 一 教授 田 橋 健 教授 石 杉 和 教授 杉 中 村 悦 教授 森 下 英 教授 山 旗 張 教授 山 下 星 准教授 小 旗 拓 准教授 鈴 城 佳 准教授 太 幡 直 准教授 三 岩 浦 一 客員教授 小 岩 田 和 准教授 鈴 城 木 拓 准教授 太 幡 佳 教授 森 正 一 教授 石 杉 健 教授 杉 中 村 悦 教授 森 下 英 教授 山 旗 張 教授 山 下 星 准教授 小 旗 拓 准教授 鈴 城 佳 准教授 太 幡 直 准教授 三 岩 浦 一
社会システム基礎論	(講2)	教授 森 正 教授 石 杉 健 教授 杉 中 村 悦 教授 森 下 英 教授 山 旗 張 教授 山 下 星 准教授 小 旗 拓 准教授 鈴 城 佳 准教授 太 幡 直 准教授 三 岩 浦 一 客員教授 小 岩 田 和 准教授 鈴 城 木 拓 准教授 太 幡 佳 教授 森 正 一 教授 石 杉 健 教授 杉 中 村 悦 教授 森 下 英 教授 山 旗 張 教授 山 下 星 准教授 小 旗 拓 准教授 鈴 城 佳 准教授 太 幡 直 准教授 三 岩 浦 一
研究基礎科目		
現代政治論 a・b	(講2・2)	教授 森 正
現代行政論 a・b	(講2・2)	教授 中 村 悦
現代経済政策論 a・b	(講2・2)	准教授 三 岩 浦 一
環境計画論 a	(講2)	教授 森 下 英
△環境計画論 b	(講2)	教授 森 下 英
国際開発論 a・b	(講2・2)	教授 山 旗 張
△国際関係論 a・b	(講2・2)	教授 杉 山 知
△生涯学習論 a・b	(講2・2)	
超域文化論 a・b	(講2・2)	客員教授 岩 田 和
人間文化論 a・b	(講2・2)	准教授 小 幡 男
福祉社会論 a・b	(講2・2)	准教授 鈴 木 佳
△応用統計論 a・b	(講2・2)	
△情報通信論 a・b	(講2・2)	
△社会情報論 a・b	(講2・2)	教授 石 橋 健
△対人関係論 a・b	(講2・2)	
△対人・集団行動論 a・b	(講2・2)	准教授 太 幡 直
△総合政策特講	(講2)	
○政治・行政研究	(演8)	教授 中 村 悦
○政治・行政研究	(演8)	教授 森 下 英
○経済・環境研究	(演8)	教授 森 下 英
○国際・地域研究	(演8)	教授 杉 山 旗 張
○国際・地域研究	(演8)	教授 杉 山 旗 張
○社会・文化研究	(演8)	客員教授 岩 田 和
○社会・文化研究	(演8)	准教授 小 幡 男
○社会・文化研究	(演8)	准教授 鈴 木 佳
○情報・メディア研究	(演8)	教授 石 橋 健
○情報・メディア研究	(演8)	教授 石 泉 寛
○人間科学研究	(演8)	准教授 太 幡 直
研究発展科目(専攻科目)		

総合政策研究科
総合政策専攻

授 業 科 目		単 位 数	担 当 教 員		
研究支援科目	研 究 計 画 法	(講2)	教 授	博士(工学)	森 下 英 治
	社 会 調 査 法	(講2)	教 授	博士(工学)	石 橋 健 一
	△ デ ー タ 分 析	(講2)	准 教 授	Ph. D.	鈴 木 佳 代
	アカデミックリーディング&ライティング	(講2)	准 教 授	博士(心理学)	太 幡 直 也
	△ 空 間 分 析	(講2)	教 授	博士(学術)	山 旗 張 星 允
△ オペレーションズリサーチ	(講2)	客員教授	Ph. D.	岩 田 和 男	
支援科目	上級コミュニケーション英語1	(講2)	客員教授		岩 田 和 男
	上級コミュニケーション英語2	(講2)	客員教授		岩 田 和 男
	△ 教 育 学 特 講 1	(講2)	非常勤講師	Ph. D.	ポッターD. M.
	△ 教 育 学 特 講 2	(講2)	教 授	博士(工学)	森 下 英 治

○印は専攻科目、△印は本年度開講せず。講は「講義」、演は「演習」

1. 研究発展科目の中から1科目（必修・演習8単位）を選定する。修士論文は、研究発展科目によって作成する。
2. 必修科目として、研究基礎科目から総合政策概論（講義2単位）、研究支援科目から研究計画法（講義2単位）を修得する。
さらに人間科学基礎論または社会システム基礎論のうち1科目（選択必修・講義2単位）を修得する。
研究科目から講義7科目14単位以上を修得する。
3. 合計34単位以上を修得する。
4. 標準履修方法

年次 \ 科目	専 攻 科 目	専攻科目以外の科目	計
第 1 年 次	演 4	講18（必修の総合政策概論、研究計画法、選択必修の研究基礎科目を含む）	22単位
第 2 年 次	演 4	講 8	12単位
計	演 8	講26	34単位

総合政策研究科

総合政策専攻（※旧カリキュラム 2021年度入学者まで適用）

授業科目・担当教員・履修方法

博士前期課程 ○印は専攻科目、△印は本年度開講せず、講は「講義」、演は「演習」

授業科目		単位数	担当教員			
研究基礎科目	総合政策概論(必修)	(講2)	教授 森 岩	教授 田 橋	教授 和 健	教授 正 男
	人間科学基礎論(選択必修)	(講2)	教授 石 杉	教授 村 下	教授 悦 英	教授 允 子
	社会システム基礎論(選択必修)	(講2)	教授 中 森	教授 山 旗	教授 張 星	教授 代 也
研究科目	現代政治論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	現代行政論 a・b	(講2・2)	教授 中 三	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 経済政策論 a・b	(講2・2)	准教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 環境政策論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 環境計画論 a	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 環境計画論 b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 国際政策論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 国際開発論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 国際関係論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 生涯学習論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 超域文化論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 人間文化論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 福祉社会論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 応用統計論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 通信情報論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ メディア社会論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大
△ 対人関係論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大	
△ 対人・集団行動論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大	
△ 生命環境論 a・b	(講2・2)	教授 森 中	教授 三 浦	教授 悦 一	教授 正 大	
研究発展科目(専攻科目)	○ 政治・行政研究 1	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	○ 政治・行政研究 2	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 〇 経済・環境研究 1	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 経済・環境研究 2	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 国際・地域研究 1	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 国際・地域研究 2	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 社会・文化研究 1	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 社会・文化研究 2	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 社会・文化研究 3	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	〇 情報・メディア研究 1	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
	△ 〇 情報・メディア研究 2	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大
△ 〇 人間科学研究 1	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大	
〇 人間科学研究 2	(演8)	教授 森 中	教授 村 浦	教授 悦 一	教授 正 大	

総合政策研究科
総合政策専攻

授 業 科 目		単 位 数	担 当 教 員
キャリア支援科目	△ キャリア支援科目Ⅰ(通信ネットワーク)	(講2)	客員教授 岩田和男 客員教授 岩田和男 教 授 博士(工学) 森下英治
	△ キャリア支援科目Ⅱ(情報システム)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅲ(データベースの基礎)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅳ(知識データベース)	(講2)	
	キャリア支援科目Ⅴ(上級コミュニケーション英語1)	(講2)	
	キャリア支援科目Ⅵ(上級コミュニケーション英語2)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅶ(教育学特講1)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅷ(教育学特講2)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅸ(生徒指導・進路指導)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅹ(教育評価・心理検査)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅺ(空間分析)	(講2)	
	△ キャリア支援科目Ⅻ(オペレーションズリサーチ)	(講2)	
研究支援科目	△ リサーチ・プロジェクト支援科目Ⅰ	(講2)	
	△ リサーチ・プロジェクト支援科目Ⅱ	(講2)	
	△ リサーチ・プロジェクト支援科目Ⅲ	(講2)	
	△ リサーチ・プロジェクト支援科目Ⅳ(日本語)	(講2)	
特別研究科目	△ 特別研究科目Ⅰ	(講2)	
	△ 特別研究科目Ⅱ	(講2)	
	△ 特別研究科目Ⅲ	(講2)	
	△ 特別研究科目Ⅳ	(講2)	
	△ 特別研究科目Ⅴ	(講2)	
	△ 特別研究科目Ⅵ	(講2)	

○印は専攻科目、△印は本年度開講せず。講は「講義」、演は「演習」

1. 研究発展科目の中から1科目(演習8単位、必修)を選定する。修士論文は、研究発展科目によって作成する。
2. 研究基礎科目から総合政策概論(必修・講義2単位)、及び、人間科学基礎論または社会システム基礎論のうち1科目(選択必修・講義2単位)を修得し、研究科目から講義7科目14単位以上を修得する。
3. 合計34単位以上を修得する。
4. リサーチ・プロジェクト支援科目Ⅳは留学生のみ履修可能である。
5. 標準履修方法

年次	科目		計
	専攻科目	専攻科目以外の科目	
第1年次	演4	講18(総合政策概論・選択必修研究基礎科目を含む)	22単位
第2年次	演4	講8	12単位
計	演8	講26	34単位

齒 學 研 究 科

1. 履修方法および学位の授与

1. 履修方法

(1) 本大学院歯学研究科在学期間中に、下記の単位を修得しなければならない。

主 科 目	24単位以上	} 合計 30単位以上
副 科 目	4 単位以上	
選 択 科 目	2 単位以上	

(2) 副科目、選択科目及び論文の作成、その他の研究一般については、あらかじめ、主科目担当教授の指導を受けなければならない。

(3) 学位論文は専攻科目について提出するものとする。

2. 学位の授与

歯学研究科在学期間中に所定の単位を修得し、専攻分野における学位論文を提出して、審査に合格し、かつ最終試験に合格したものに博士（歯学）の学位を授与する。

2. 令和7年度 大学院開講科目及び担当者

歯学研究科 博士課程

授業科目	単位	担当教員
口腔解剖学 (口腔組織・発生学)	(講8. 実16)	教授 本 田 雅 規 田 井 垂 希
口腔解剖学 (口腔解剖形態学)	(講8. 実16)	准教授 永 井 希 子
口腔生理学	(講8. 実16)	教授 豊 田 博 紀 准教授 森 田 匠 准教授 畑 中 彦 教授 鈴 木 信 弘 教授 前 木 崇 彦 准教授 久 保 初 彦 准教授 杉 田 勝 俊 教授 長 谷 川 好 彦 准教授 西 川 明 清
口腔生化学	(講8. 実16)	教授 畑 中 彦 弘
口腔病理学	(講8. 実16)	教授 前 木 崇 彦 准教授 久 保 初 彦 准教授 杉 田 勝 俊 教授 長 谷 川 好 彦 准教授 西 川 明 清
口腔微生物学	(講8. 実16)	教授 長 谷 川 好 彦 准教授 西 川 明 清
歯科薬理学	(講8. 実16)	教授 西 濱 村 和 達
歯科理工学	(講8. 実16)	教授 林 鶴 田 昌 義 准教授 田 崎 昌 義
口腔衛生学	(講8. 実16)	教授 鳴 加 辻 夫 正 准教授 藤 本 一 曉
歯科保存学 (保存修復学)	(講8. 実16)	教授 加 辻 友 篤 孝 准教授 田 富 孝 直
歯科保存学 (歯内治療学)	(講8. 実16)	教授 堀 三 谷 章 雄 准教授 菊 林 潤 一
歯科保存学 (歯周病学)	(講8. 実16)	教授 三 谷 章 雄 准教授 菊 林 潤 一
歯科補綴学 (有床義歯学)	(講8. 実16)	教授 武 部 昌 純 特殊診療科教授 尾 澤 昌 悟
歯科補綴学 (高齢者・在宅歯科医療学)	(講8. 実16)	教授 木 村 上 統 弘 特殊診療科教授 竹 内 一 夫
歯科補綴学 (冠・橋義歯学)	(講8. 実16)	准教授 竹 内 一 夫 准教授 水 野 哉 真 教授 宮 前 尚 知 准教授 近 藤 和 佳 准教授 橋 本 重 光 准教授 佐 久 間 部 厚 教授 阿 後 藤 満 雄 准教授 渡 邊 長 哲 特殊診療科教授 夏 宮 地 長 門
歯科矯正学	(講8. 実16)	准教授 宮 新 美 照 幸 教授 新 宮 澤 照 幸 准教授 藤 原 琢 也 准教授 田 琢 雅 子 准教授 佐 藤 琢 麻 幸 教授 名 和 弘 幸 准教授 有 地 榮 一 郎 准教授 内 藤 宗 孝 教授 木 佐 祥 貴 教授 成 藤 曾 士 准教授 中 瀨 村 桂 子 教授 野 本 信 周 久 嗣
小児歯科学	(講8. 実16)	教授 名 和 弘 幸
歯科放射線学	(講8. 実16)	教授 有 地 榮 一 郎 准教授 内 藤 宗 孝 教授 木 佐 祥 貴 教授 成 藤 曾 士 准教授 中 瀨 村 桂 子 教授 野 本 信 周
歯科麻酔学	(講8. 実16)	教授 木 佐 祥 貴
歯科病態内科学	(講8. 実16)	教授 成 藤 曾 士 准教授 中 瀨 村 桂 子
歯科病態関連外科学	(講8. 実16)	教授 野 本 信 周

歯学
研究科
歯科基礎系・
歯科臨床系

3. 授業科目(特論・演習)

			特論(1) (2単位)	特論(2) (2単位)	演習(1) (2単位)	演習(2) (2単位)
歯 科 基 礎 系	口腔解剖学	口腔組織・発生学	細胞生物学	幹細胞生物学	幹細胞研究の 実験方法	再生医学研究の 実験方法
		口腔解剖形態学	肉眼解剖学研究法 (1)	肉眼解剖学研究法 (2)	実験手技特別演習	肉眼解剖形態分析 演習
	口腔生理学		システム神経科学	生理学データ解析法	生理学実験手技 トレーニング-1-	生理学実験手技 トレーニング-2-
	口腔生化学		細胞の分泌機能と その制御	遺伝子発現機構と その調節	プロテインキナーゼと プロテインホスファターゼの 機能解析	生物発光タンパク質と 蛍光タンパク質の 研究応用
	口腔病理学		病理診断研究法	病理診断遺伝子 解析法	病理標本作製・ 染色演習	免疫染色・遺伝子 解析演習
	口腔微生物学		微生物の分子遺伝 学的解析	微生物由来タンパク質の 解析法	微生物の分子遺伝 学的解析の実際	微生物由来タンパク質の 解析法の実際
	歯科薬理学		骨代謝学研究法	糖鎖生物学研究法	骨代謝学演習 (1)	骨代謝学演習 (2)
	歯科理工学		高分子研究法	生体材料開発の 基本	分析機器	情報処理デバイス
歯 科 臨 床 系	口腔衛生学		個人口腔衛生学 研究法	公衆歯科衛生学 研究法	個人口腔衛生学 演習	公衆歯科衛生学 演習
	歯科保存学	保存修復学	接着歯学研究法	硬組織治療学 教育法	接着歯学演習 修復学特別演習	う蝕要因・制御学演習 レーザー歯学特別演習
		歯内治療学	歯髄・根尖性歯周疾患の 病因・病態と治療法	歯内治療法の 現状と未来	歯内治療臨床演習 (1)	歯内治療臨床演習 (2)
		歯周病学	歯周病と 全身疾患	宿主免疫応答と 組織破壊メカニズム	歯周病の原因	歯周組織再生医療
	歯科補綴学	有床義歯学	顎顔面補綴学	有床義歯補綴学	有床義歯の臨床応用	有床義歯の機能評価
		高齢者・在宅 歯科医療学	全部床義歯学/ 高齢者・在宅歯科医療学	口腔インプラント学	全部床義歯学/ 高齢者・在宅歯科医療学	口腔インプラント学
		冠・橋義歯学	咀嚼能力と全身の 健康歯科補綴学	有歯顎の咬合	臨床咬合検査・ 診断学	咬合セミナー
	口腔外科学	機能形態構築 口腔外科学	機能形態構築口腔外科 疾患治療法(1)	機能形態構築口腔外科 疾患治療法(2)	機能形態構築 口腔外科演習(1)	機能形態構築 口腔外科演習(2)
		病因病態制御 口腔外科学	口腔顎顔面外科の 潮流	口腔顎顔面外科 研究法	口腔外科学研究法	口腔外科臨床演習
	口腔外科学研究法 (口腔先天異常学)		口腔外科学研究法 (口腔ケア学)	口腔外科学研究法 (国際協力学)	口腔外科学研究法 (言語学)	
	歯科矯正学		成長発育と 不正咬合	成長発育と矯正歯科 治療の基礎	成長発育と矯正歯科 治療の基礎	矯正歯科における 資料の分析と診断
	小児歯科学		歯列・咬合ならびに 口腔機能の発達	小児・障害児歯科学 診断法	小児・障害児歯科学 臨床教育演習	小児歯科学疾患治療法 演習
	歯科放射線学		画像診断研究法	歯科放射線臨床 教育法	エックス線検査	特殊画像検査
	歯科麻酔学		歯科麻酔学	歯科麻酔学	歯科麻酔学	歯科麻酔学
歯科病態内科学		歯科疾患と関連す る内科疾患	内科疾患の病態 生理	内科診断学	内科治療学	
歯科病態関連外科学		各臓器系の生理と 口腔と外科学	各臓器系の傷病と 口腔疾患と外科学	口腔疾患症例の持 つ各臓器系の傷病と その評価	口腔疾患症例の持 つ各臓器系の傷病と 周術期管理	

歯
科
基
礎
系
・
歯
科
臨
床
系
研
究
科

薬学研究科

1. 履修方法および学位の授与

(1) 履修方法

- ① 専門科目は8専門科目から5科目以上を選択して、10単位以上を修得。
- ② 専門科目の特別研究12単位を修得。
- ③ 専門科目の属する分野の特別演習8単位を修得。
 - 単位修得のためには授業を受けることに加え、それぞれの科目で予習と復習に十分な時間をかけて学ぶことが必要である。
 - 授業に関し、新型コロナウイルス感染症対策又はその他の登校禁止措置により必要な場合は遠隔授業を行う。
 - なお、この場合の各授業における実施方法等に関しては、事前に通知する。

(2) 学位の授与

所定の期間在学し、計30単位以上を修得し、かつ最終試験及び博士論文の審査に合格したものに博士（薬学）の学位を授与する。

2. 薬学研究科医療薬学専攻 授業科目（専門科目）及び担当教員

区分	授業科目	担当研究室	担当教員	
専門科目	医療分子薬学分野	医療分子薬学特論Ⅰ	薬用資源学 教授 中島 健一 微生物学 教授 河村 好章 講師 富田 純子	
		△医療分子薬学特論Ⅱ	薬品分析学 教授 古野 忠秀 製剤学 教授 山本 浩充	
		医療分子薬学特論Ⅲ	公衆衛生学 教授 佐藤 雅彦 准教授 李 辰竜 生化学 教授 武内 智春	
		△医療分子薬学特論Ⅳ	薬化学 教授 安池 修之 講師 松村 実生 生体有機化学 教授 神野伸一郎 准教授 小幡 徹	
	医療機能薬学分野	医療機能薬学特論Ⅰ	応用薬理学 准教授 大井 義明 薬効解析学 教授 村木 克彦	
		△医療機能薬学特論Ⅱ	薬物治療学 教授 加藤 宏一 講師 加藤 文子	
		医療機能薬学特論Ⅲ	製剤学 教授 鍋倉 智裕 准教授 上井 優一 医療薬学 教授 松浦 克彦 准教授 浦野 公彦	
		△医療機能薬学特論Ⅳ	臨床薬学 教授 河原 昌美 准教授 渡邊 法男	
	特別研究	薬学特別研究		古野忠秀 山本浩充 佐藤雅彦 河村好章 安池修之 神野伸一郎 村木克彦 加藤宏一 武内智春 松浦克彦 河原昌美 鍋倉智裕 中島健一 小幡 徹 大井義明 上井優一 李 辰竜 渡邊法男 浦野公彦
	特別演習	医療分子薬学特別演習		古野忠秀 山本浩充 佐藤雅彦 河村好章 安池修之 神野伸一郎 中島健一 小幡 徹 李 辰竜 富田純子 松村実生
		医療機能薬学特別演習		村木克彦 加藤宏一 鍋倉智裕 松浦克彦 河原昌美 大井義明 上井優一 浦野公彦 渡邊法男 加藤文子

△印は2025年度は開講せず